

大紀町商工会 経営発達支援計画事業

小規模事業者 実態把握 経済動向調査アンケート

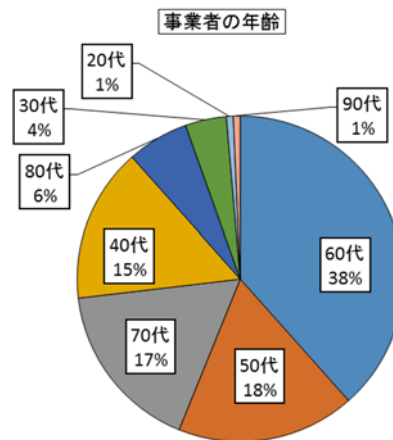
集計結果

回答期間：平成 28 年 1 月 4 日（月）～15 日（金）
配布総数：328 件
回答総数：308 件（回答率：93.9%）

I 事業の現況と代表者について

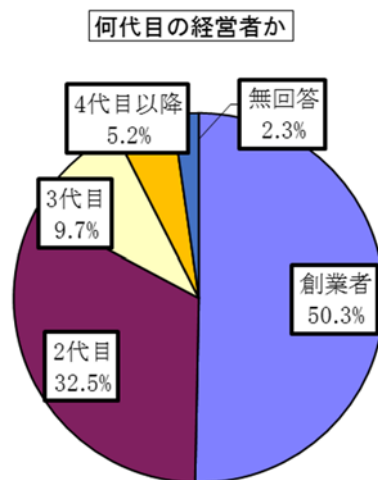
① 事業者の年齢

回答者の年齢層別に分けると、60代が38%であり、50代が18%、70代が17%比較的年齢の高い事業者の割合が高い。



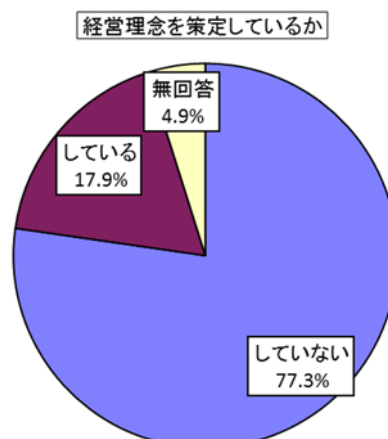
② 何代目の経営者にあたりますか？

自ら創業した経営者が50.3%であった。承継者と創業者がほぼ半々存在する。



③ 経営理念を策定しているか？

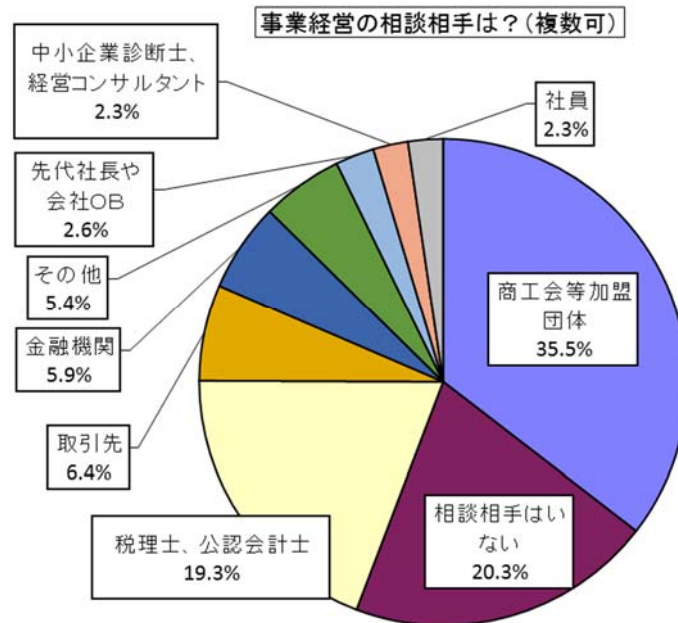
経営理念を策定していると回答した事業者は17.9%にとどまった。



④ 事業経営の相談相手はいますか？またどんな相手ですか？

商工会等の加盟団体が 35.5%と多く、税理士・公認会計士が次いで 19.3%と多い。社員や先代・会社 OB に助言を求めている事業者は比較的少ない。

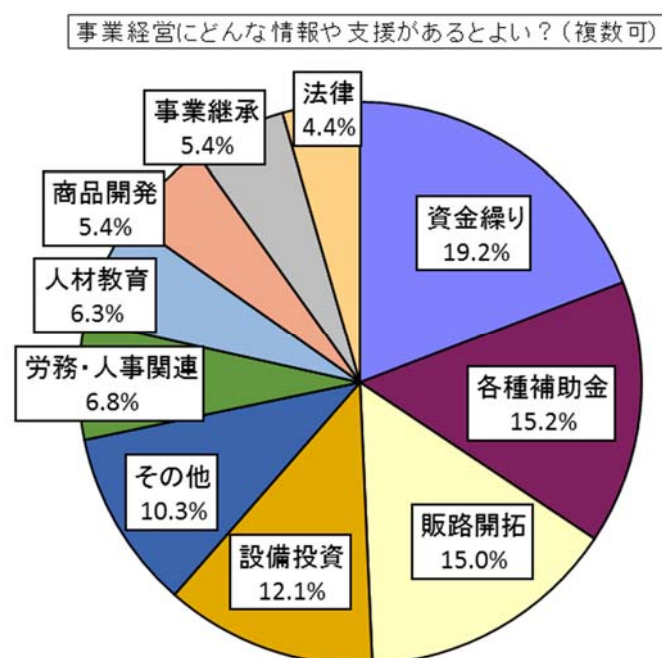
その他の回答は、「同業者」、「友人」、「家族・親族」などの回答があった。



⑤ 事業経営に必要な情報や支援は？

事業者が希望する情報や支援については、「資金繰り」が最も多く 19.2%である。次いで「各種補助金」15.2%であった。資金面以外の支援では、「販路開拓」15.0%と高く売上確保に向けて販路の拡大を計画している事業者が多と考えられる。その他の回答では、「SNS の活用」や「従業員採用」との回答があった。

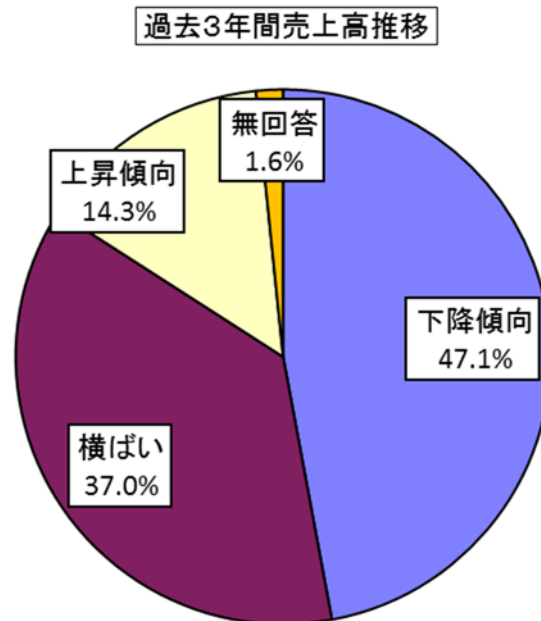
必要な情報・支援について資金面以外の回答は偏って多い項目はない。事業者は、それぞれの状況に合わせて様々な情報・支援を受けたいと考えていることがわかる。



Ⅱ 事業の現況と見通しについて

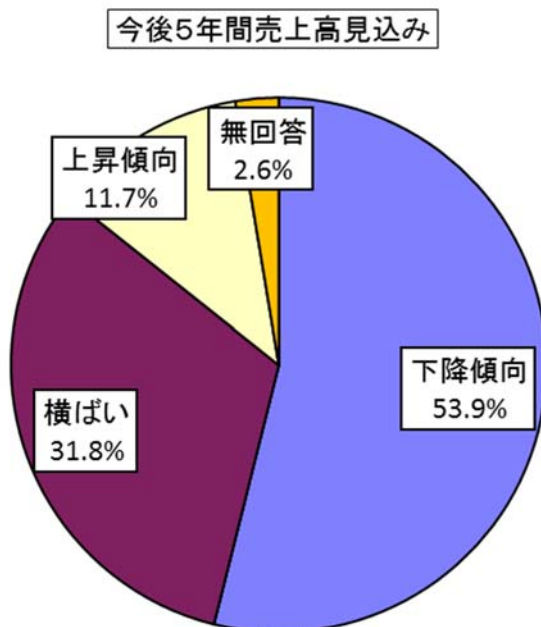
① 過去3年間の売上高推移

過去3年間の売上高の推移については、下降傾向にあると回答した事業者が47.1%を占め管内小規模事業者の半数程度が売上低迷に苦しんでいることが分かる。



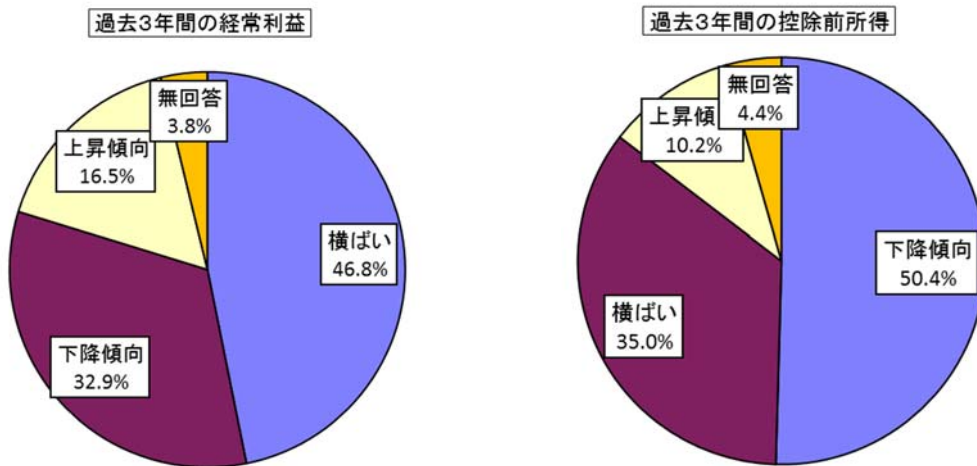
② 今後5年間の売上高の見込

今後5年間の売上高の見込についても下降傾向と答える事業者が53.9%にのぼり、上昇傾向と回答した事業者数も過去3年間の実績と比較すると減少しており、今後更に売上低下が進むと見込む事業者が多い。



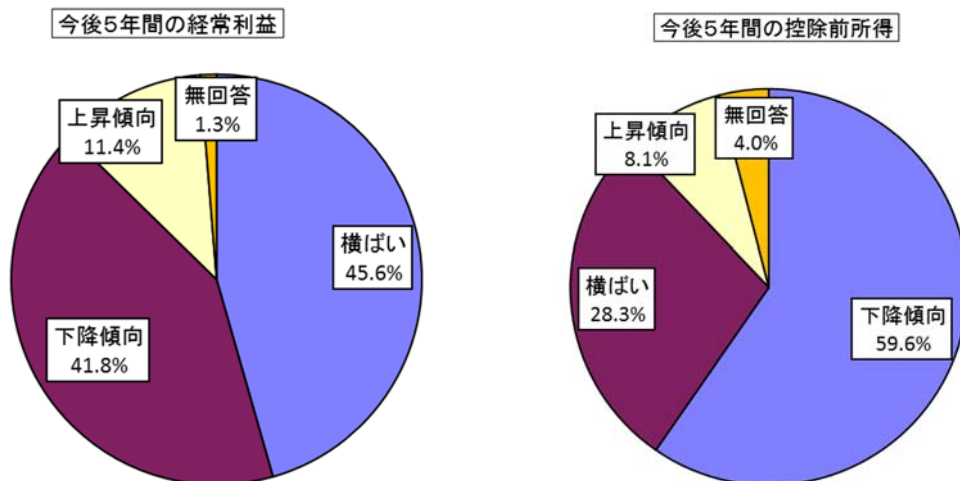
③ 過去の採算性

過去の採算性を見ていくと、個人事業主では下降傾向と回答している割合 50.4%と半数以上の事業者において採算性が悪化している。法人については、横ばいと回答している事業者が最も多く、46.8%であった。個人事業者においてより採算性が悪化している傾向が強い。いずれも採算性が上昇傾向にあると回答した事業者は、20%を下回っている。



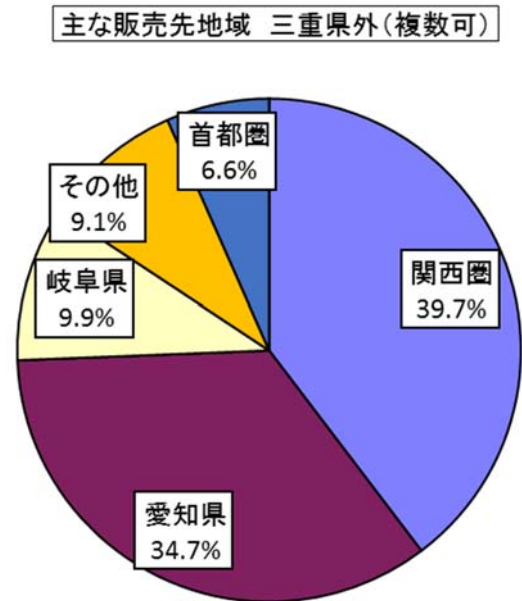
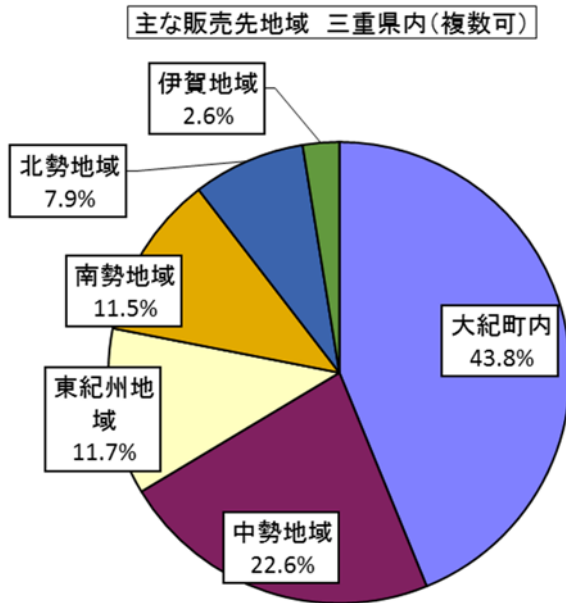
④ 今後の採算性見通し

今後の採算性においても、個人事業主では下降傾向にあると回答した事業者が 59.6%にのぼり法人よりも下降傾向にあると捉えている割合が高い。上昇傾向と答えた事業者は法人で 11.4%、個人事業主では 8.1%でありどちらも、今後採算性が悪化するとみている事業者の割合が高い。



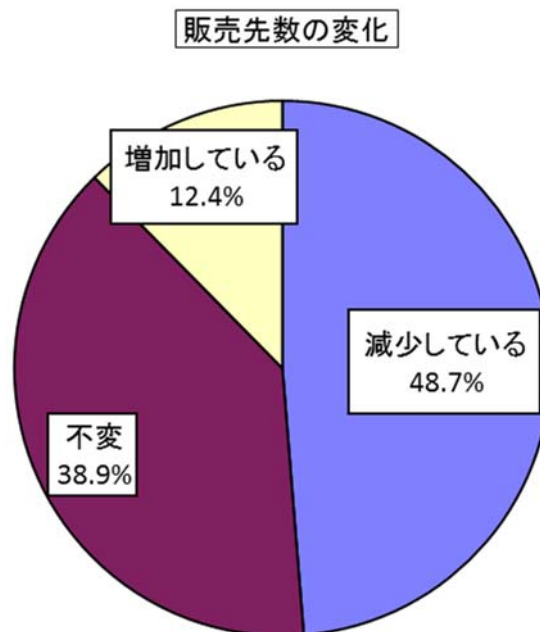
⑤ 主な販売先について

主な販売先の所在地については、多くに事業者が大紀町内に主要な販売先が存在している。近隣の市町村では、中勢地域と東紀州地域が南勢より多くなっている。県外では、関西圏が販売先で最も多い（39.7%）。



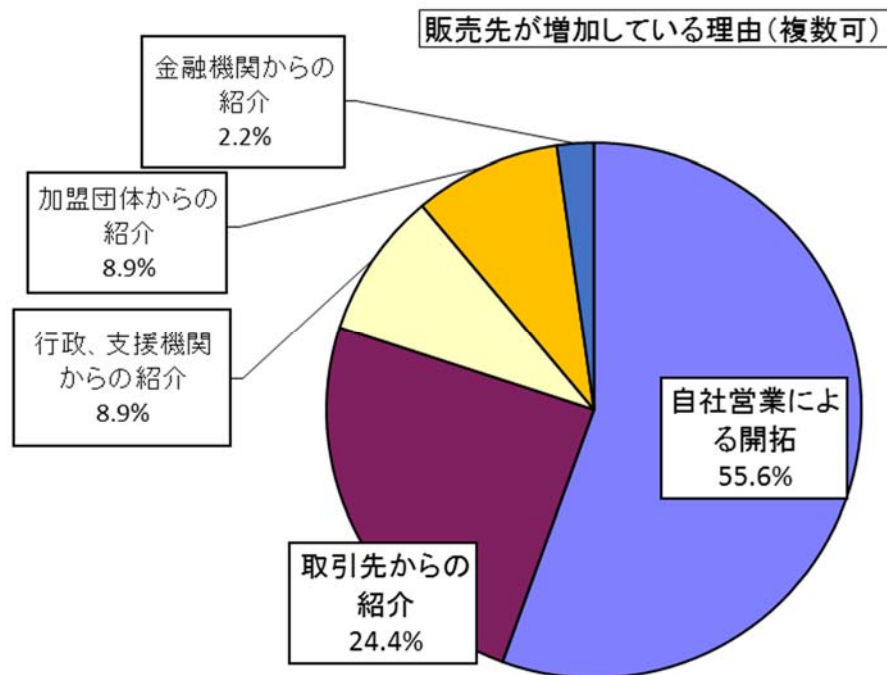
⑥ 販売先数の変化

販売先について増加していると回答した事業者は 12.4%と低く、減少していると回答した事業者が 48.7%であった。販売先の減少が、売上の減少につながっていることが伺える。



⑦ 販売先が増加している理由

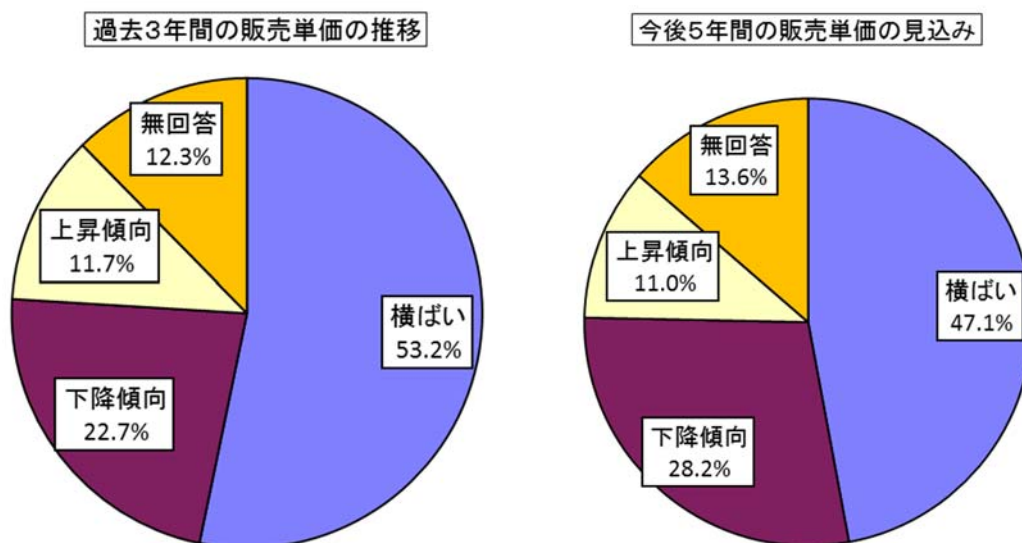
販売先が増加していると回答した事業者に対してその理由を確認したところ、事業者自身による開拓が55.6%と最も多かった。一方で、取引先や支援機関など外部からの紹介の紹介により、販売先を増加させている事業者も半数近く存在している。



⑧ 販売単価の推移と見込について

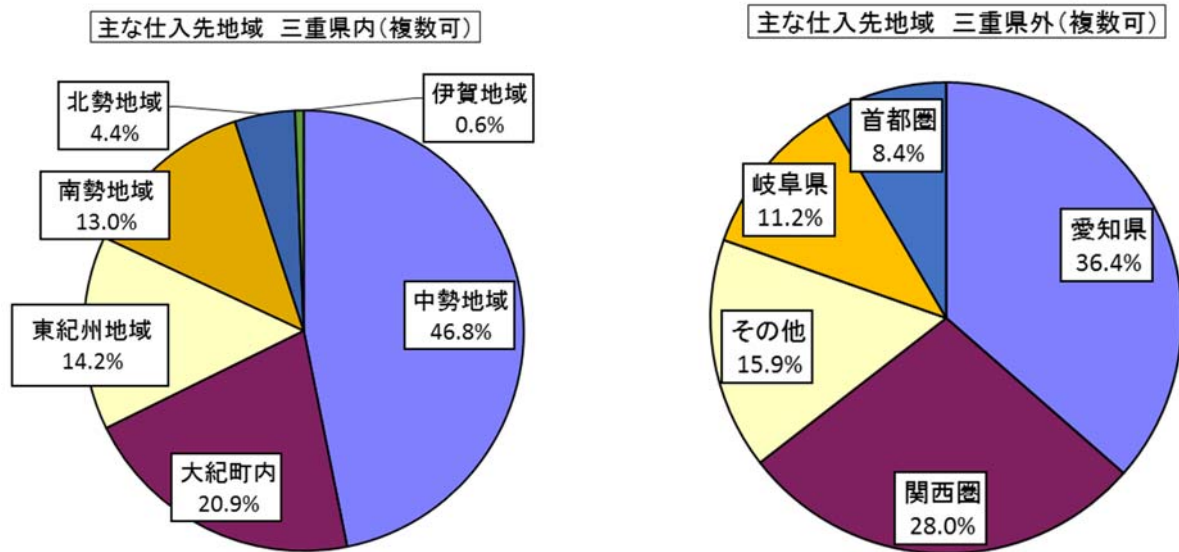
販売単価の推移と見込を確認すると、過去3年間で販売単価が下降傾向と回答している事業者は22.7%であった。先の販売先数の設問と合わせ分析すると、過去3年間の売上が減少している要因は、販売先数の減少による影響が大きいと言える。

今後5年間の販売単価の見込は、下降傾向にあるとみている事業者がやや増え28.2%が下降傾向になると考えているが、上昇傾向と回答している事業者も11.0%存在する。



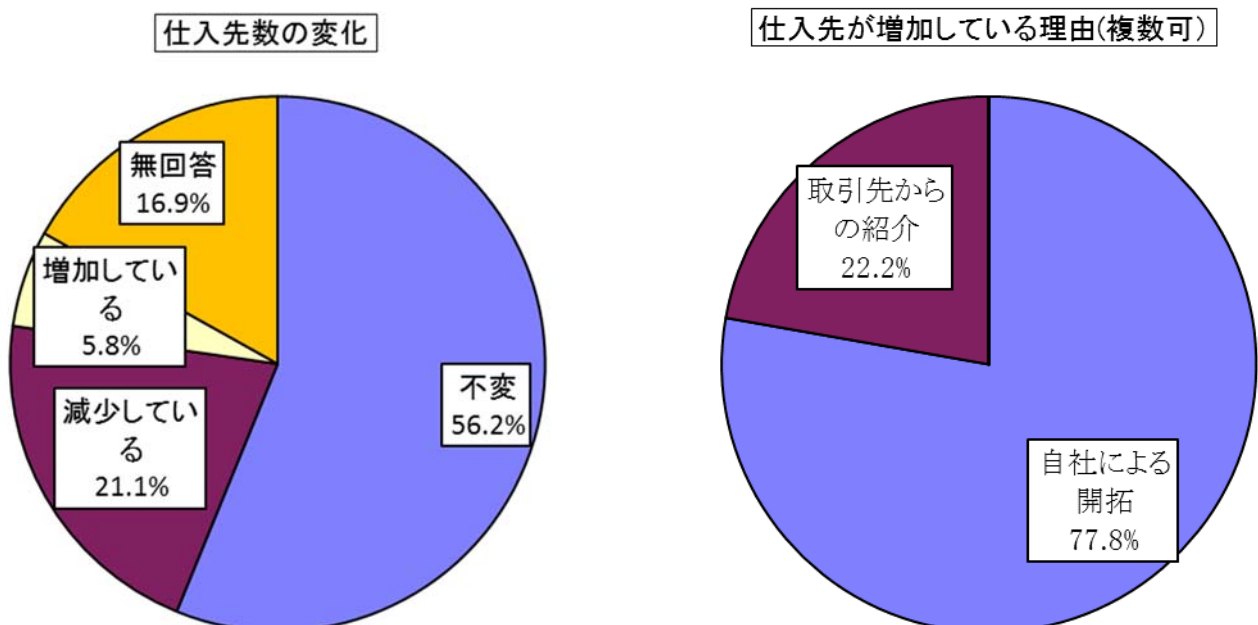
⑨ 仕入先について

仕入先について確認すると、販売先と異なり三重県内では中勢地域からの仕入が46.8%と最も多い。県外では、愛知県からの仕入が多く36.4%である。



⑩ 仕入先数の変化

仕入先数については、増加していると回答した事業者は5.8%であった。減少していると回答した事業者は21.1%であり、56.2%の事業者が不変であると回答している。仕入先の選別や新陳代謝は進んでいないと言える。増加していると回答した事業者にその理由を確認すると、自社による開拓が77.8%と高かった。

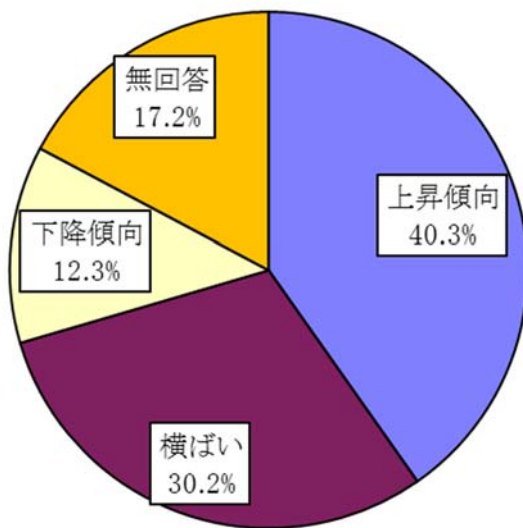


⑪ 仕入・原材料単価の推移と価格転嫁

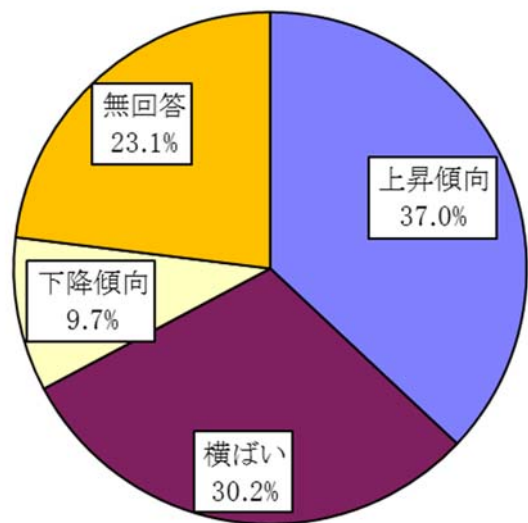
過去3年間の仕入・原材料単価は上昇していると答えた事業者が40.3%にのぼる。今後の5年間の仕入・原材料単価も上昇傾向と回答した事業者が37.0%あり、仕入・原材料単価が今後も上昇していくと考えられる。採算性を向上させていくためには、仕入・原材料核の上昇分を販売価格に適正に価格転嫁していけるかが重要である。

事業者の仕入価格の上昇を販売価格に価格転嫁出来ているか確認すると、転嫁できていないと回答した事業者が58.9%にのぼり、上昇傾向にある仕入単価を販売価格に転嫁できていない事業者が半数以上存在している。今後も仕入・原材料単価の上昇を見込んでいる事業者に対して、販売先との交渉など適正な価格転嫁が行えるような支援が必要である。

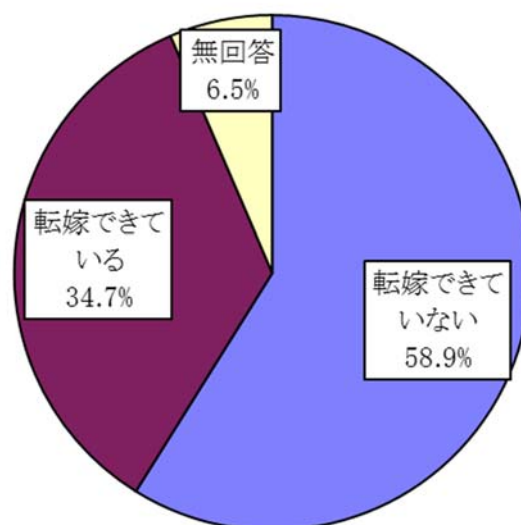
過去3年間の仕入・原材料単価の推移



今後5年間の仕入・原材料単価の見込み



仕入単価の上昇は販売価格に転嫁できているか

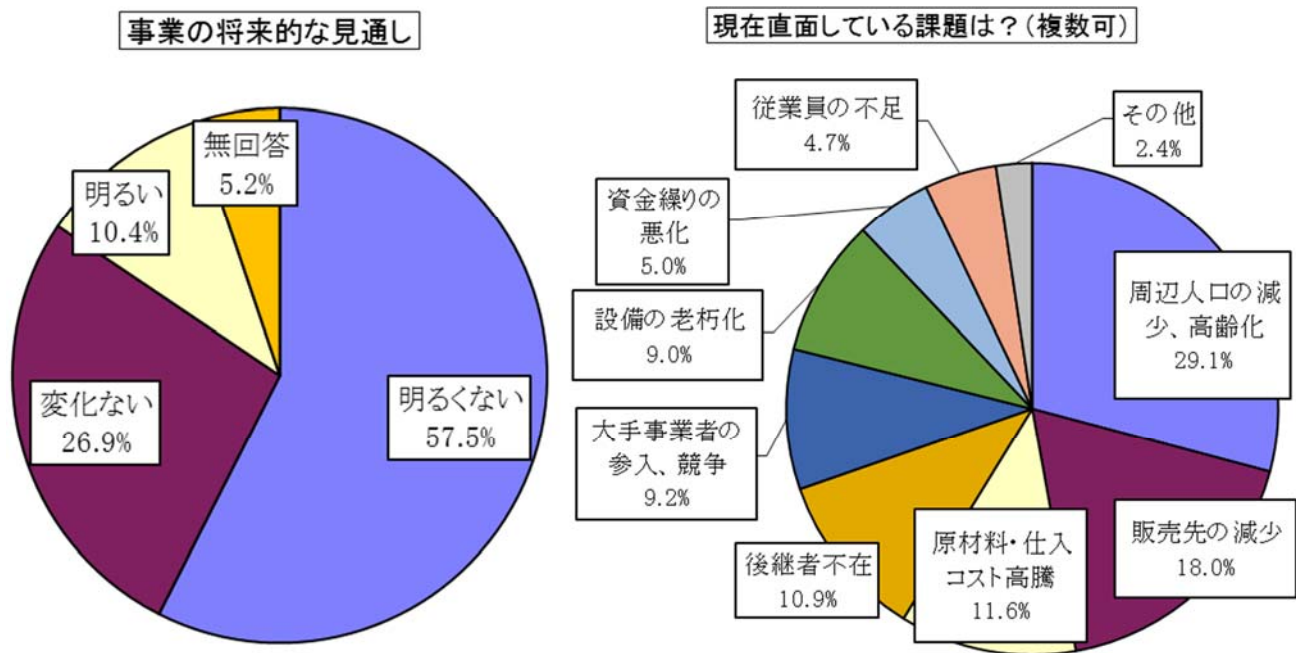


⑫ 事業の将来的な見通し

自社事業の将来的な見通しについて、明るくないと答えた事業者が57.5%にのぼった。半数以上の事業者が事業の将来性に悲観になっている現実が確認された。

明るくないと回答した事業者に現在直面している課題を確認すると、周辺人口の減少・高齢化という回答が最も多く29.1%であった。次いで販売先の減少18.0%と続き、人口減少・販売先の減少から将来の売上の見通しも減少傾向にあると考えている事業者が多い結果となっていることがみてとれる。

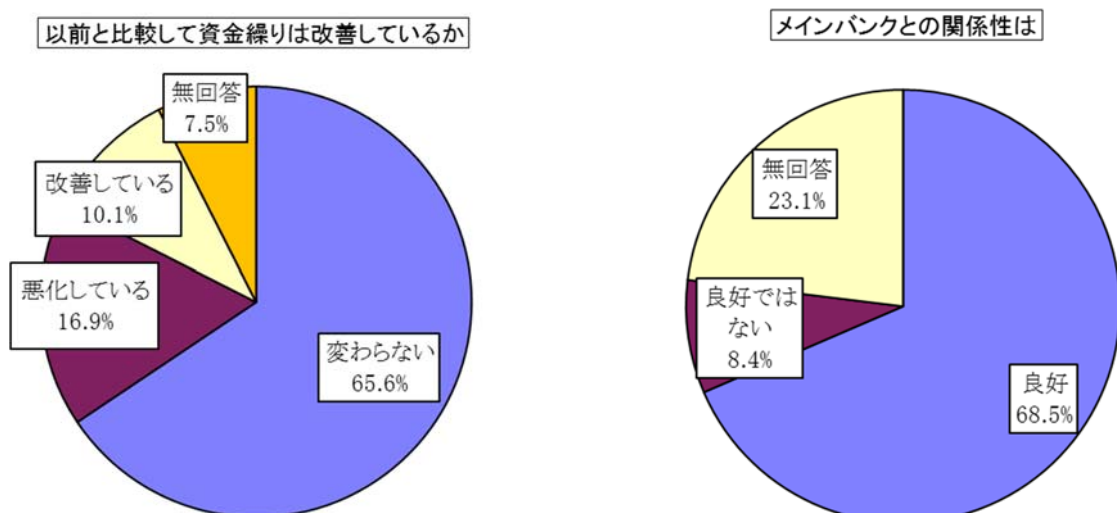
事業者が必要としている支援・情報について「販路開拓」と回答した事業者が15.0%存在した事を含め、周辺の人口減少・高齢化、販売先の減少にさらされている中で、中長期的に必要な支援だと考えられる。



⑬ 資金繰りについて

資金繰りについては、以前と変わらないと回答している割合が最も高い。悪化していると回答している事業者は16.9%であった。売上・採算性が悪化している事業者が多い中で、資金繰りは維持できている事業者の割合が高く、メインバンクとの関係性も良好と回答した事業者が68.5%と7割近い割合であった。

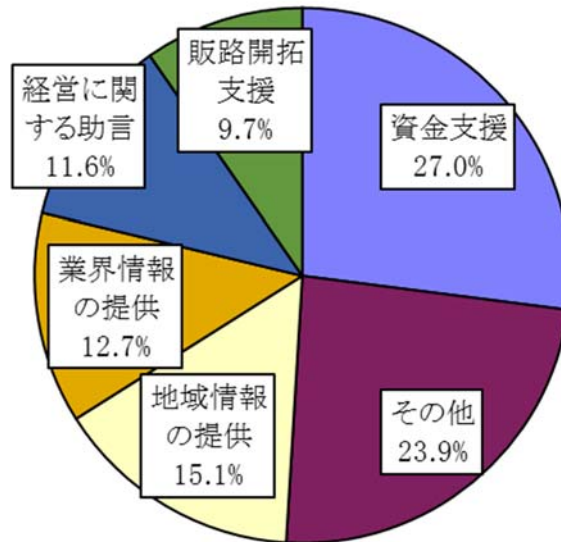
現状の資金繰りに余力があるうちに、「販路拡大」や「販売価格の上昇」など経営課題に早期に取組み、事業者の持続的な経営を支援していくことが重要であると言える。



⑭ 金融機関に期待する支援

金融機関に期待する支援は資金支援が27.0%であった。それ以外は、際立って割合の高い回答はなく、各事業者のニーズに合わせ様々な支援を金融機関に求めていることが分かる。また、その他の回答は、金利に関する協力を希望する意見が大半であった。

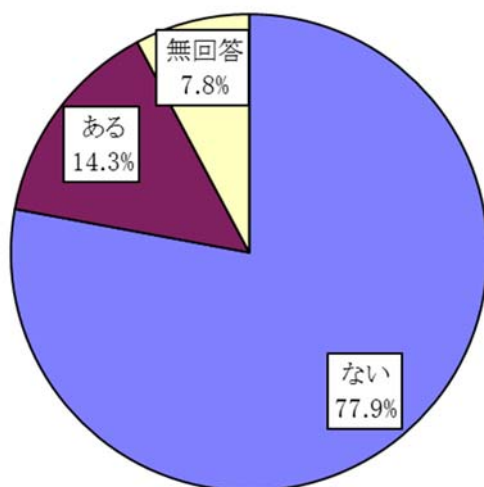
金融機関に期待すること(複数可)



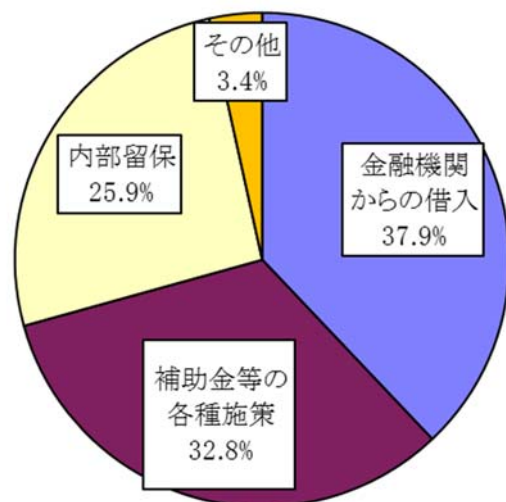
⑮ 設備投資計画について

設備投資計画について、有ると回答した事業者は14.3%であった。設備投資計画があると回答した事業者のうち、内部留保で資金を調達すると回答した事業者は25.9%であり、それ以外の事業者は金融機関や補助金などの外部機関から何らかの支援を必要としていることがわかる。

設備投資計画はあるか



投資資金の調達方法(複数可)

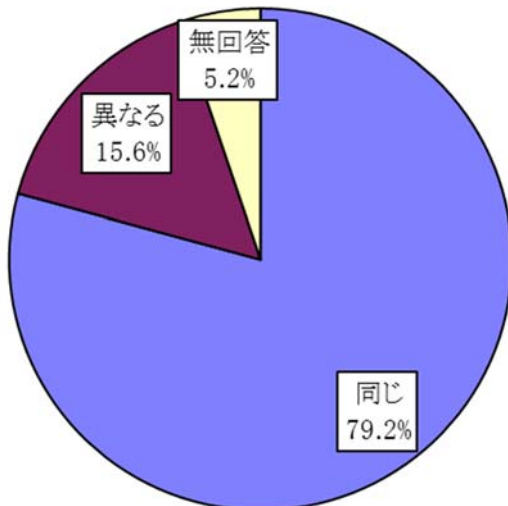


Ⅲ 事業転換・事業計画について

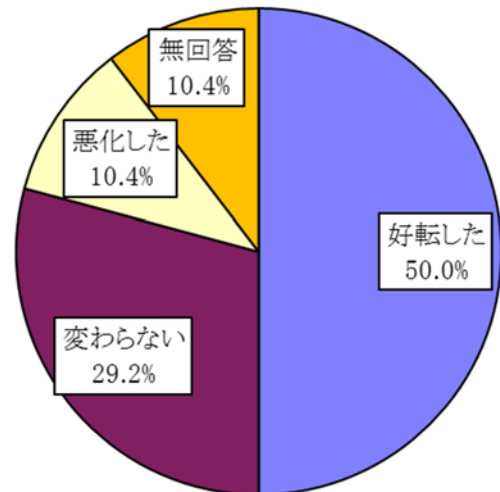
① 創業時事業からの転換とその後の業績

15.6%の事業者が創業時と異なる事業へ進出していることが分かった。一方で、79.2%の事業者は業種転換を行っていない。業種転換したと回答した事業者に事業転換後の業績の変化を確認したところ、半数の事業者が、業種転換後に業績が好転したと回答している。

現在の業種は創業時の事業と異なる？



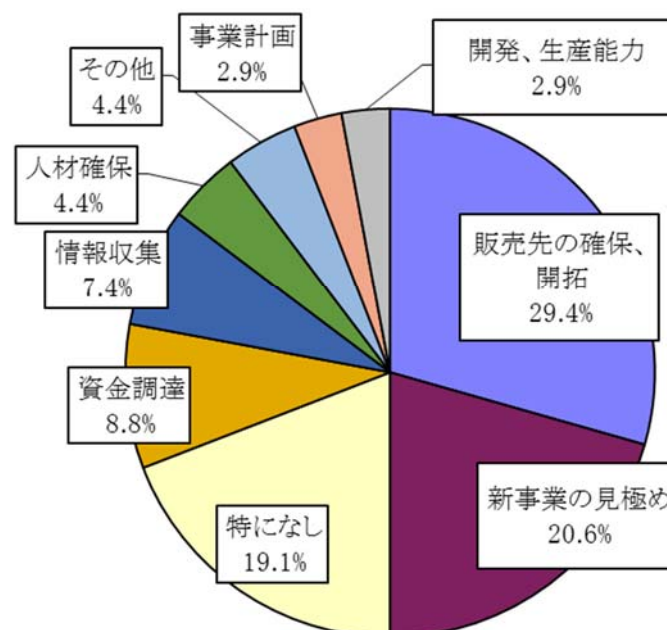
業種転換後の業績の変化



② 業種転換時に直面した課題

創業時と異なる事業へ進出した事業者について、事業転換時に直面した課題を確認した。業種転換時に「販売先の確保と開拓」が最も多く 29.4%であった。業種転換により新たな市場へ参入した際の共通する課題であると言える。既存事業により事業基盤がある程度確立されていたためか、資金調達について課題とあげた事業者は 10%未満であった。既存の事業での販売先の減少も課題であり、業種転換を含めた販路開拓支援が重要であることが改めて確認できる。

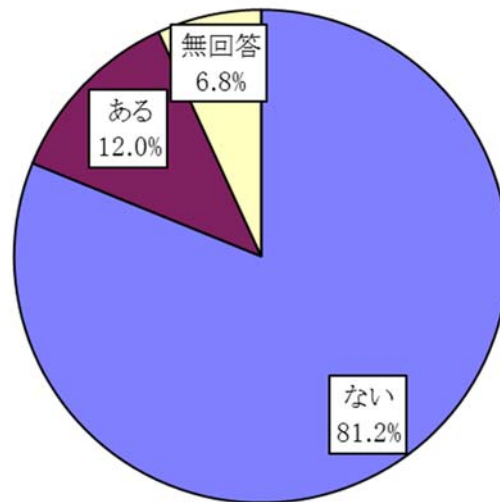
業種転換時に直面した課題(複数可)



③ 今後の新事業・業種転換の計画

今後の新規事業への進出計画を確認したところ、81.2%の事業者が「ない」と回答している。既存事業の見通しが明るくないと回答する事業者が多い中、新規事業進出や業種転換を行うことで事業者の持続的発展が期待できる。事業の見極めや、業種転換後の販路開拓支援など、事業者の新規事業進出・業種転換を手厚く支援する事で事業者の発展を促せる可能性があると考えられる。

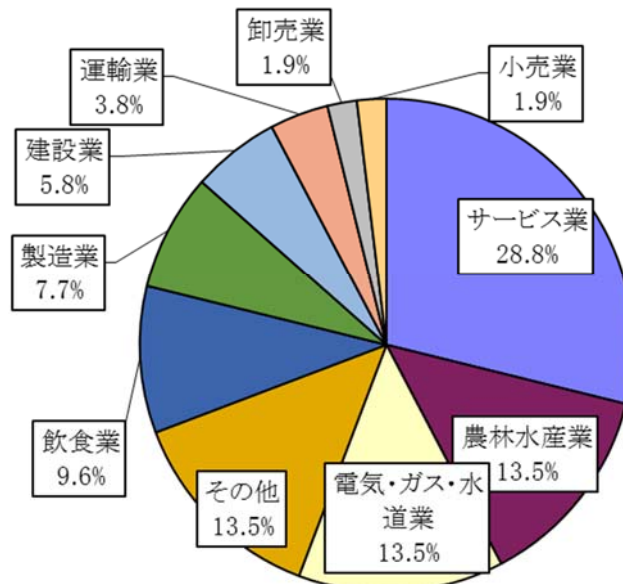
今後新規事業、業種転換計画があるか



④ どんな事業への進出を計画しているか

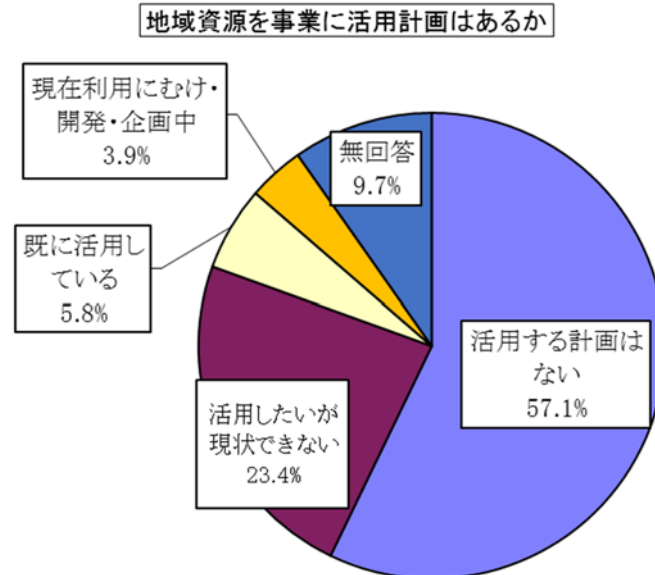
新規事業へ進出する計画があると回答した事業者の業種を確認するとサービス業が最も多く 28.8%であった。農林水産業・エネルギー関連事業が次いで多い。その他では、「民泊」と回答した事業者が2件、「福祉」と回答した事業者が2件などあった。

どんな事業への進出を計画？（複数可）



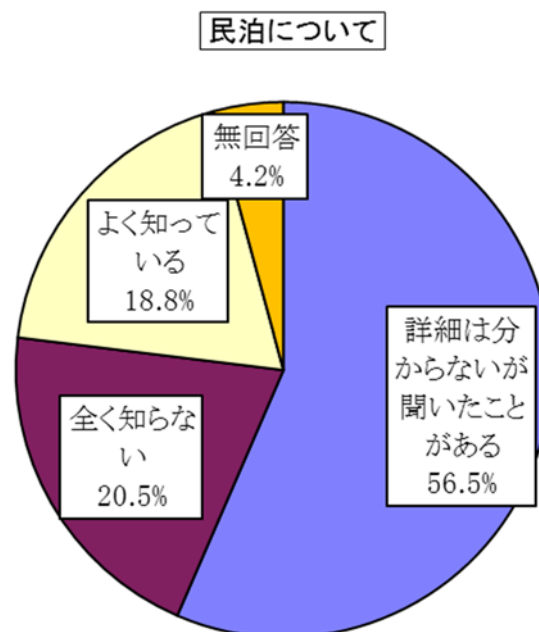
⑤ 地域資源の活用について

大紀町の地域資源を事業に活用していく計画や希望があるかを確認したところ、57.1%の事業者は計画がないとの回答であった。活用を希望する事業者は、既に実施済みを含め 33.1%存在する。そのうち 23.4%の事業者が何らかの障害があり活用したいが現状できないと回答しており、今後その課題を精査し必要な支援策を策定していく必要がある。



⑥ 民泊について

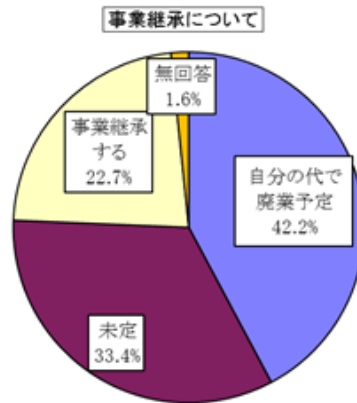
民泊について、事業者の認知度について確認したところ良く知っていると回答した事業者は、18.8%であった。今後、町内で民泊事業の推進をしていく中で、まず事業者への制度や情報発信が重要であると言える。特に民泊についての興味はあっても、各種法制度などあいまいな部分も多く制度を理解することが難しいこともあり、より情報の提供を工夫して行う必要があると言える。



Ⅳ 事業承継

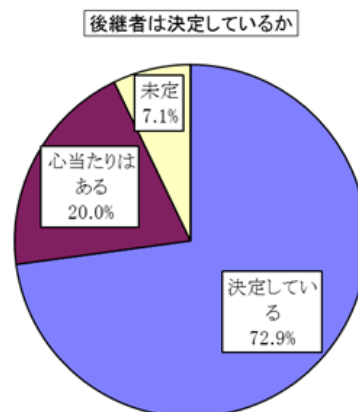
① 事業承継について

事業の継続について、現経営者の代で廃業を予定していると回答した事業者が42.2%にのぼった。事業承継をすると答えた事業者は、22.7%しか存在せず、管内の小規模事業者の半数近くが現在の世代で廃業を計画している。



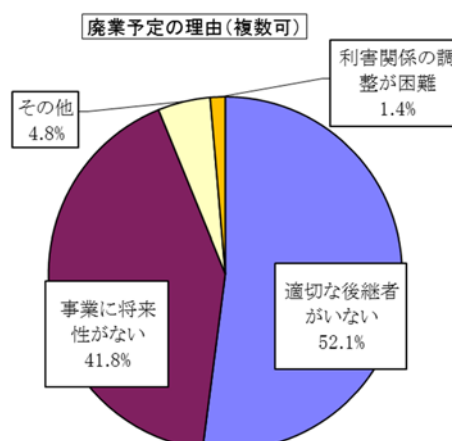
② 後継者について

事業承継をすると回答した事業者の中では、92.9%が「決定している」もしくは「心当たりはある」と回答しており、事業承継すると回答した事業者は、ほぼ確実に事業承継が行われると言える。



③ 廃業予定と答えた事業者の理由

自分の代で廃業すると回答した事業者のうち、適切な後継者がいないと回答した事業者が52.1%存在し、家族間の利害関係の調整が困難と答えた事業者と合わせ、廃業を計画している事業者でもその半数以上は、外部後継者の紹介など適切な支援を行えば、事業承継し当代以降も存続する可能性が高いと言える。



Ⅰ 現在の貴社・貴店の概況および経営者ご自身について

①事業者名・商号を教えてください。

事業者名・商号：_____

②代表者について教えてください。

お名前：_____ ご年齢：満_____歳

何代目の経営者にあたりますか？（下記の該当する□に ☒ をお付けください）

☐ 創業者 ☐ 2代目 ☐ 3代目 ☐ 4代目以降

③事業形態について教えてください。

☐ 法人 ☐ 個人事業

④創業／設立年について教えてください。

創業：西暦_____年 法人設立：西暦_____年

⑤直近の業績について教えてください。

直前期（平成_____年_____月期） 売上高：_____千円

経常利益（個人事業主の場合は控除前所得）：_____千円

⑥役員について教えてください。

役員数：_____名（うち代表者の家族・親族の人数：_____名）

⑦従業員（上記役員を除く）について教えてください。

正社員数：_____名（うち代表者の家族・親族の人数：_____名）

パート・アルバイト・非正規雇用：_____名（うち家族・親族の人数：_____名）

⑧経営理念について教えてください。

1) 経営理念を策定していますか？

☐ している ☐ していない

2) 1) で「している」とお答えの方にお伺いします。

どのような経営理念ですか？

⑨事業経営について相談相手がありますか？またそれはどんな相手ですか？（複数可）

- ☐ 税理士、公認会計士 ☐ 金融機関 ☐ 商工会等加盟団体
☐ 中小企業診断士、経営コンサルタント ☐ 取引先 ☐ 先代社長や会社OB
☐ 社員 ☐ その他（具体的に _____） ☐ 相談相手はいない

⑩事業経営についてどんな情報や支援があるとよいですか？（複数可）

- ☐ 商品開発 ☐ 販路開拓 ☐ 事業承継 ☐ 法律 ☐ 資金繰り
☐ 設備投資 ☐ 労務・人事関連 ☐ 人材教育 ☐ 各種補助金
☐ その他（具体的に _____）

⑪事業承継、後継者について教えてください。

1) 事業の承継について教えてください。

- ☐ 事業承継する ☐ 未定 ☐ 自分の代で廃業予定 → 下記3)へ

2) 1)で「事業承継する」とお答えの方にお伺いします。

後継者は決定していますか？

- ☐ 決定している ☐ 心当たりはある ☐ 未定

3) 1)で「自分の代で廃業する」とお答えの方にお伺いします。

廃業を予定されている理由を教えてください。（複数可）

- ☐ 適切な後継者がいない ☐ 家族を含めた利害関係の調整が困難
☐ 事業に将来性がない ☐ その他（_____）

Ⅱ 事業の現況と見通しについて

①過去3年間の売上高の推移について教えてください。

- ☐ 上昇傾向 ☐ 横ばい ☐ 下降傾向

②今後5年間の売上高の見込について教えてください。

- ☐ 上昇傾向 ☐ 横ばい ☐ 下降傾向

③過去3年間の経常利益（個人事業主の方は控除前所得）の推移について教えてください。

- ☐ 上昇傾向 ☐ 横ばい ☐ 下降傾向

④今後5年間の経常利益（個人事業主の方は控除前所得）の見込について教えてください。

- ☐ 上昇傾向 ☐ 横ばい ☐ 下降傾向

⑤販売面についてお伺いします。

1) 主な販売先の地域を教えてください。（複数可）

《三重県内》

☐大紀町内 ☐北勢地域 ☐中勢地域 ☐伊賀地域 ☐南勢地域 ☐東紀州地域

《三重県外》

☐愛知県 ☐岐阜県 ☐関西圏 ☐首都圏 ☐その他（_____）

2) 販売先数の変化について教えてください。

☐増加している ☐不変 ☐減少している

3) 2)で「増加している」とお答えされた方にお伺いします。

販売先が増加した理由を教えてください。（複数可）

☐自社営業による開拓 ☐金融機関からの紹介 ☐行政、支援機関からの紹介
☐加盟団体からの紹介 ☐取引先からの紹介

4) 過去3年間の販売単価の推移について教えてください。

☐上昇傾向 ☐横ばい ☐下降傾向

5) 今後5年間の販売単価の見込について教えてください。

☐上昇傾向 ☐横ばい ☐下降傾向

⑥仕入についてお伺いします。

1) 主な仕入先の地域を教えてください。（複数可）

《三重県内》

☐大紀町内 ☐北勢地域 ☐中勢地域 ☐伊賀地域 ☐南勢地域 ☐東紀州地域

《三重県外》

☐愛知県 ☐岐阜県 ☐関西圏 ☐首都圏 ☐その他（_____）

2) 仕入先数の変化について教えてください。

☐増加している ☐不変 ☐減少している

3) 2)で「増加している」とお答えの方にお伺いします。

仕入先が増加した理由を教えてください。（複数可）

☐自社による開拓 ☐金融機関からの紹介 ☐行政、支援機関からの紹介
☐加盟団体からの紹介 ☐取引先からの紹介

4) 過去3年間の仕入・原材料単価の推移について教えてください。

☐上昇傾向 ☐横ばい ☐下降傾向

5) 4)で「上昇傾向」とお答えされた方にお伺いします。

仕入単価の上昇は販売価格に転嫁できていますか？

☐ 転嫁できている ☐ 転嫁できていない

6) 今後5年間の仕入・原材料単価の見込について教えてください。

☐ 上昇傾向 ☐ 横ばい ☐ 下降傾向

⑦事業の将来的な見通しを教えてください。

1) 事業・業界の見通しを教えてください。

☐ 明るい ☐ 変化ない ☐ 明るくない

2) 1)で「明るくない」とお答えの方にお伺いします。

現在直面している課題を教えてください。(複数可)

☐ 販売先の減少 ☐ 周辺人口の減少、高齢化 ☐ 原材料・仕入コスト高騰
☐ 大手事業者の参入、競争 ☐ 従業員の不足 ☐ 設備の老朽化
☐ 資金繰りの悪化 ☐ 後継者不在
☐ その他 (具体的に)

⑧資金繰りについて教えてください。

1) 以前と比較して資金繰りは改善していますか？

☐ 改善している ☐ 変わらない ☐ 悪化している

2) メインバンクとの関係性はいかがですか？

☐ 良好 ☐ 良好ではない

3) 金融機関に期待することはありますか。(複数可)

☐ 資金支援 ☐ 経営に関する助言 ☐ 販路開拓支援 ☐ 業界情報の提供
☐ 地域情報の提供 ☐ その他 (具体的に)

4) 設備投資計画がありますか？

☐ ある ☐ ない

5) 4)で「ある」とお答えの方にお伺いします。

投資資金の調達方法を教えてください。(複数可)

☐ 内部留保 ☐ 金融機関からの借入 ☐ 補助金等の各種施策
☐ その他 ()

Ⅲ 事業転換、事業計画について

①現在の業種は創業時の事業と異なりますか？

☐同じ ☐異なる

② ①で「異なる」とお答えの方にお伺いします。

1) 業種転換時に直面した課題はありましたか？（複数可）

☐新事業の見極め ☐事業計画 ☐情報収集 ☐開発、生産能力

☐販売先の確保、開拓 ☐資金調達 ☐人材確保

☐その他（具体的に _____）

☐特になかった

2) 業種転換後の業績に変化はありましたか？

☐好転した ☐変わらない ☐悪化した

④今後新規事業、業種転換の計画がありますか？

☐ある ☐ない

⑤ ④で「ある」とお答えの方にお伺いします。

どんな事業への進出を計画していますか？（複数可）

☐農林水産業 ☐建設業 ☐製造業 ☐電気・ガス・水道業

☐運輸業 ☐卸売業 ☐小売業 ☐飲食業 ☐サービス業

☐その他（具体的に _____）

⑥大紀町商工会では「経営発達支援事業」として大紀町の地域資源（農林水産品、伝統工芸、観光資源など）を利用して新規事業に取りくまれる事業者を支援しています。

地域資源を事業に活用される計画はございますか？

☐既に活用している ☐現在利用にむけ開発・企画中である

☐活用したいが現状できていない ☐活用する計画はない

⑦大紀町商工会では「経営発達支援事業」として大紀町の地域資源を利用した民泊などの観光産業の強化に取り組んでいます。

1) 民泊についてご存知ですか？

☐よく知っている ☐詳細は分からないが聞いたことがある ☐全く知らない

2) 民泊についての事業者向けセミナーが2016年1月21日（木）、22日（金）に開催されます。

参加のご意向を教えてください。

☐参加したい ☐参加意向はない ☐未定

ご協力ありがとうございました。

大紀町商工会